2027年３月期　第２四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年11月13日

上 場 会 社 名　高砂香料工業株式会社　　上場取引所　東
コ ー ド 番 号　4914　　URL　https://www.takasago.com/
代　　表　　者（役職名）代表取締役社長　　（氏名）水野　直樹
問合せ先責任者（役職名）執行役員管理本部長　　（氏名）平田　裕康　　(TEL) 03-5744-0523

半期報告書提出予定日　2026年11月13日　　配当支払開始予定日　2026年12月17日
決算補足説明資料作成の有無　：有
決算説明会開催の有無　：有　（証券アナリスト、機関投資家向け）

（百万円未満切捨て）

１．2027年３月期第２四半期（中間期）の連結業績（2026年４月１日～2026年９月30日）

（１）連結経営成績(累計)

（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年３月期中間期	129,381	13.0	6,133	△1.2	5,866	△12.8	4,355	△19.3
2026年３月期中間期	114,467	0.8	6,209	△22.4	6,730	△2.4	5,396	10.2

（注）包括利益　2027年３月期中間期　11,370百万円（ 252.0%）　2026年３月期中間期　3,230百万円（△74.5%）

	１株当たり中間純利益	潜在株式調整後１株当たり中間純利益
	円 銭	円 銭
2027年３月期中間期	44.66	―
2026年３月期中間期	55.37	―

※　当社は2025年10月１日付で普通株式１株につき５株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、１株当たり中間純利益を算定しております。

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年３月期中間期	288,589	164,292	56.0
2026年３月期	271,147	156,051	56.6

（参考）自己資本　2027年３月期中間期　161,474百万円　　2026年３月期　153,415百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年３月期	―	120.00	―	28.00	―
2027年３月期	―	26.00			
2027年３月期(予想)			―	30.00	56.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：有

詳細につきましては、本日（2026年11月13日）公表の「業績予想の修正、剰余金の配当（中間配当）及び期末配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

※　当社は2025年10月１日付で普通株式１株につき５株の割合で株式分割を行っております。2026年３月期第２四半期末は分割前、期末は分割後の金額を記載しております。年間配当金合計については株式分割の実施により単純合算ができないため表示しておりません。なお、株式分割を考慮した場合の2026年３月期第２四半期末の配当金は24円となり、年間配当金は52円となります。

３．2027年３月期の連結業績予想（2026年４月１日～2027年３月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	260,000	15.5	11,000	35.3	11,500	20.9	9,400	△1.3	96.40

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：有

※　注記事項

（１）当中間期における連結範囲の重要な変更　　：　無

新規　　一社（社名）　　、除外　　一社（社名）

（２）中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用　　：　無

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　　：　無

②　①以外の会計方針の変更　　：　無

③　会計上の見積りの変更　　：　無

④　修正再表示　　：　無

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	2027年３月期中間期	100,761,985株	2026年３月期	100,761,985株
②　期末自己株式数	2027年３月期中間期	3,200,345株	2026年３月期	3,265,935株
③　期中平均株式数（中間期）	2027年３月期中間期	97,514,789株	2026年３月期中間期	97,464,432株

※　当社は2025年10月１日付で普通株式１株につき５株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、2026年３月期中間期の期中平均株式数（中間期）を算定しております。

※　第２四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料３ページ「１．経営成績等の概況（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

当社では、2026年11月24日（火）に機関投資家及びアナリスト向けの決算説明会を会場とライブ配信のハイブリッド方式にて開催を予定しております。この説明会で配布する決算説明資料については、同日に当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

１．経営成績等の概況 …… 2
（１）当中間期の経営成績の概況 …… 2
（２）当中間期の財政状態の概況 …… 2
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3
２．中間連結財務諸表及び主な注記 …… 4
（１）中間連結貸借対照表 …… 4
（２）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書 …… 6
（３）中間連結財務諸表に関する注記事項 …… 8
（継続企業の前提に関する注記） …… 8
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 8
（セグメント情報） …… 8

１．経営成績等の概況

（１）当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、中東情勢等の影響を受け一部に弱めの動きもみられるものの、雇用・所得環境の改善や政府による各種施策を背景として緩やかに回復しました。

海外経済につきましては、一部に弱めの動きもみられるものの、総じて緩やかに成長しました。今後のわが国経済の見通しにつきましては、中東情勢の影響を受けた原油価格上昇が景気の下押し要因となるものの、今後も緩やかな成長が見込まれます。当面は、中東情勢の展開が金融・為替市場やわが国の経済・物価に及ぼす影響を特に注視する必要があります。

香料業界においては、世界経済の成長に合わせる形で、全体として堅調に推移しました。競合他社との競争環境は厳しい状況が続いておりますが、市場としては、中国や東南アジアでの成長が引き続き期待できる一方、成熟市場である欧米でも底堅い成長が見込まれます。

このような中、当社グループは「人にやさしく、環境にやさしく」をスローガンとする『Vision 2040』のもと、中期経営計画『New Global Plan-2【NGP-2】』（2024-2026年度）を推進してまいりました。

当中間連結会計期間の売上高は、129,381百万円（前中間連結会計期間比13.0％増）、営業利益は6,133百万円（前中間連結会計期間比1.2％減）、経常利益は5,866百万円（前中間連結会計期間比12.8％減）、親会社株主に帰属する中間純利益は4,355百万円（前中間連結会計期間比19.3％減）となりました。

部門別では、フレーバー部門は、飲料向け香料が東南アジア、欧州で堅調に推移し、売上高は68,814百万円（前中間連結会計期間比8.6％増）となりました。一方、欧州子会社において販管費が増加し、営業利益は4,049百万円（前中間連結会計期間比4.7％減）となりました。フレグランス部門は、東南アジアにおいてファブリックケア商品向け香料が好調に推移し、売上高は44,759百万円（前中間連結会計期間比23.3％増）、営業利益は1,492百万円（前中間連結会計期間比147.2％増）となりました。アロマイングリディエンツ部門は、合成香料中間体が伸長し、売上高は8,885百万円（前中間連結会計期間比9.0％増）となりました。利益面では、製造経費の増加等により、営業利益は1,116百万円（前中間連結会計期間比18.6％減）となりました。ファインケミカル部門は、売上高は6,205百万円（前中間連結会計期間比4.8％増）となりました。利益面では、新工場に係る固定費の増加や、グループ内取引の未実現利益の消去により、営業損失1,151百万円（前中間連結会計期間は営業損失602百万円）となりました。その他不動産部門は、売上高は715百万円（前中間連結会計期間比1.8％増）、営業利益は626百万円（前中間連結会計期間比6.8％増）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりです。

日本は、アロマイングリディエンツ部門において合成香料中間体等の輸出が増加し、売上高は41,288百万円（前中間連結会計期間比2.7％増）、営業利益は1,463百万円（前中間連結会計期間比72.0％増）となりました。米州は、円安の影響により増収となり、売上高は32,366百万円（前中間連結会計期間比11.9％増）となりました。営業利益は、販管費の増加により、451百万円（前中間連結会計期間比58.7％減）となりました。欧州は、フレグランス部門が好調に推移したことや、円安の影響により、売上高は24,315百万円（前中間連結会計期間比18.9％増）となりました。営業利益は販管費の増加により、520百万円（前中間連結会計期間比47.3％減）となりました。アジアは、円安の影響により、売上高は31,410百万円（前中間連結会計期間比26.3％増）となりました。営業利益は、シンガポール子会社のフレグランス部門における売上増加や原料費比率の低下により、4,916百万円（前中間連結会計期間比52.4％増）となりました。

（２）当中間期の財政状態の概況

総資産は、前連結会計年度末と比較して17,442百万円増加し、288,589百万円となりました。主なものは、受取手形及び売掛金の増加7,189百万円、投資有価証券の増加5,940百万円、商品及び製品の増加3,566百万円であります。

負債は、前連結会計年度末と比較して9,201百万円増加し、124,297百万円となりました。主なものは、支払手形及び買掛金の増加5,702百万円、短期借入金の増加4,383百万円であります。

純資産は、前連結会計年度末と比較して8,241百万円増加し、164,292百万円となりました。主なものは、その他有価証券評価差額金の増加3,897百万円、為替換算調整勘定の増加2,545百万円、利益剰余金の増加1,625百万円であります。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年５月15日に公表しました2027年３月期の連結業績予想を本資料において修正しております。詳細につきましては、本日別途公表の「業績予想の修正、剰余金の配当（中間配当）及び期末配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

２．中間連結財務諸表及び主な注記

（１）中間連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （2026年３月31日）	当中間連結会計期間 （2026年９月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	19,578	15,708
受取手形及び売掛金	53,476	60,666
電子記録債権	3,098	3,713
商品及び製品	35,029	38,596
仕掛品	199	580
原材料及び貯蔵品	31,642	33,332
その他	5,725	6,181
貸倒引当金	△405	△475
流動資産合計	148,345	158,303
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	38,104	37,376
その他（純額）	46,438	48,695
有形固定資産合計	84,542	86,072
無形固定資産	5,509	5,423
投資その他の資産		
投資有価証券	23,750	29,690
その他	9,528	9,631
貸倒引当金	△529	△532
投資その他の資産合計	32,749	38,790
固定資産合計	122,802	130,286
資産合計	271,147	288,589

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2026年３月31日)	当中間連結会計期間 (2026年９月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	18,644	24,346
短期借入金	32,338	36,722
1年内返済予定の長期借入金	8,001	8,001
未払法人税等	1,789	2,133
賞与引当金	2,363	2,349
役員賞与引当金	59	29
その他	15,807	14,415
流動負債合計	79,004	87,998
固定負債		
長期借入金	19,597	18,610
役員退職慰労引当金	5	5
訴訟損失引当金	721	725
退職給付に係る負債	9,038	9,222
その他	6,729	7,735
固定負債合計	36,091	36,298
負債合計	115,095	124,297
純資産の部		
株主資本		
資本金	9,248	9,248
資本剰余金	8,455	8,498
利益剰余金	105,090	106,715
自己株式	△1,594	△1,561
株主資本合計	121,199	122,901
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	10,528	14,426
為替換算調整勘定	19,250	21,795
退職給付に係る調整累計額	2,436	2,350
その他の包括利益累計額合計	32,215	38,573
非支配株主持分	2,635	2,818
純資産合計	156,051	164,292
負債純資産合計	271,147	288,589

（２）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

中間連結損益計算書

（単位：百万円）

	前中間連結会計期間 （自 2025年４月１日 至 2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自 2026年４月１日 至 2026年９月30日）
売上高	114,467	129,381
売上原価	76,891	87,332
売上総利益	37,575	42,048
販売費及び一般管理費	31,365	35,915
営業利益	6,209	6,133
営業外収益		
受取利息	44	31
受取配当金	297	317
持分法による投資利益	176	195
為替差益	118	－
その他	245	325
営業外収益合計	882	870
営業外費用		
支払利息	356	602
為替差損	－	439
その他	4	95
営業外費用合計	361	1,137
経常利益	6,730	5,866
特別利益		
固定資産売却益	5	97
投資有価証券売却益	795	149
補助金収入	－	374
その他	－	20
特別利益合計	801	641
特別損失		
固定資産処分損	16	13
固定資産圧縮損	－	337
訴訟損失引当金繰入額	128	－
特別損失合計	145	350
税金等調整前中間純利益	7,386	6,157
法人税、住民税及び事業税	1,575	1,836
法人税等調整額	△39	△523
法人税等合計	1,536	1,313
中間純利益	5,850	4,843
非支配株主に帰属する中間純利益	454	488
親会社株主に帰属する中間純利益	5,396	4,355

中間連結包括利益計算書

（単位：百万円）

	前中間連結会計期間 （自 2025年４月１日 至 2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自 2026年４月１日 至 2026年９月30日）
中間純利益	5,850	4,843
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	954	3,897
繰延ヘッジ損益	5	－
為替換算調整勘定	△3,330	2,591
退職給付に係る調整額	10	△85
持分法適用会社に対する持分相当額	△260	122
その他の包括利益合計	△2,620	6,526
中間包括利益	3,230	11,370
（内訳）		
親会社株主に係る中間包括利益	2,918	10,712
非支配株主に係る中間包括利益	312	657

（３）中間連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報）

Ⅰ　前中間連結会計期間（自 2025年４月１日　至 2025年９月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

（単位：百万円）

	日本	米州	欧州	アジア	計	調整額（注）１	中間連結損益計算書計上額（注）２
売上高							
香料事業　（注）３	39,506	28,929	20,451	24,876	113,763	－	113,763
顧客との契約から生じる収益	39,506	28,929	20,451	24,876	113,763	－	113,763
その他の収益　（注）４	703	－	－	－	703	－	703
外部顧客への売上高	40,210	28,929	20,451	24,876	114,467	－	114,467
セグメント間の内部売上高又は振替高	7,139	491	1,785	295	9,711	△9,711	－
計	47,349	29,421	22,236	25,171	124,178	△9,711	114,467
セグメント利益	850	1,092	988	3,224	6,156	53	6,209

（注）１．セグメント利益の調整額53百万円は、セグメント間取引に係る内部損益取引の調整額277百万円、セグメント間取引に係る棚卸資産の調整額△15百万円、その他△208百万円であります。

２．セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

３．香料事業はフレーバー、フレグランス、アロマイングリディエンツ、ファインケミカルの製造・販売を主な事業内容としており、当該事業の売上高は主に一時点で顧客に移転される財から生じる収益で構成されております。

４．その他の収益は、その他不動産事業に係る賃貸収入等で構成されております。

Ⅱ　当中間連結会計期間（自 2026年４月１日　至 2026年９月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

（単位：百万円）

	日本	米州	欧州	アジア	計	調整額（注）１	中間連結損益計算書計上額（注）２
売上高							
香料事業　（注）３	40,572	32,366	24,315	31,410	128,665	－	128,665
顧客との契約から生じる収益	40,572	32,366	24,315	31,410	128,665	－	128,665
その他の収益　（注）４	715	－	－	－	715	－	715
外部顧客への売上高	41,288	32,366	24,315	31,410	129,381	－	129,381
セグメント間の内部売上高又は振替高	9,914	417	2,163	295	12,791	△12,791	－
計	51,202	32,784	26,479	31,706	142,173	△12,791	129,381
セグメント利益	1,463	451	520	4,916	7,352	△1,218	6,133

（注）１．セグメント利益の調整額△1,218百万円は、セグメント間取引に係る内部損益取引の調整額327百万円、セグメント間取引に係る棚卸資産の調整額△1,299百万円、その他△246百万円であります。

２．セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

３．香料事業はフレーバー、フレグランス、アロマイングリディエンツ、ファインケミカルの製造・販売を主な事業内容としており、当該事業の売上高は主に一時点で顧客に移転される財から生じる収益で構成されております。

４．その他の収益は、その他不動産事業に係る賃貸収入等で構成されております。